

## 客観的評価指標に対応する事後評価項目

## &lt;事業採択の前提条件に対応する事後評価項目&gt;

	評価項目	効果の有無	補足事項(場所・データ等)
事業の効率性	交通量の状況(新規事業採択時(再評価時)の予測値との比較 <sup>1</sup> 、乖離の要因等)	-	平成13年度(全線開通時)の平均交通量は3,700台/日であり、推計値の平均交通量(4,900台/日)の約8割
	旅行速度向上の状況(新規事業採択時(再評価時)の予測値との比較 <sup>1</sup> 、乖離の要因等)		国道196号利用で41km/hから今治小松自動車道利用で60km/hに19km/h向上 (今治湯ノ浦IC ~ 一般国道11号交差点) 資料:道路時刻表
	交通事故の低減の状況(新規事業採択時(再評価時)の予測値との比較 <sup>1</sup> 、乖離の要因等)		当該道路及び並行道路(一般国道196号) 死傷事故件数 73件/年(H9)から92件/年(H17) 死傷事故率 75.0/億台 <sup>※</sup> から71.9件/億台 <sup>※</sup> 資料:H9、H17道路交通センサス
	事業費・維持管理費の状況(新規事業採択時(再評価時)の予測値との比較 <sup>2</sup> 、乖離の要因等)	-	事業費 計画:810億円 実績:885億円 要因:付加車線の追加、文化財本発掘調査の追加、物価上昇・消費税導入を行ったため
	事業期間短縮(遅延)による社会的便益(損失)(便益増減額と費用増減額を計測)	-	計画時:9年 実績:12年4ヶ月(+3年4ヶ月) 損失額:123億円(費用増加額 -、便益減少額123億円)
	費用対効果分析の結果(新規事業採択時(再評価時)との比較)		B/C= 1.1(H18基準年)
事業実施環境	新規事業採択時(再評価時)の事業実施環境からの変化の状況	-	-

1 予測値が存在しない場合、事前の実測値との比較を可とする。

2 コストについて、計画と実績の比較がデータの制約により困難な場合は、実績の確認を行うだけでよい。

## &lt;事業の効果や必要性の評価に対応する事後評価項目&gt;

政策目標		評価項目	効果の有無	補足事項(場所・データ等)
大項目	中項目			
1.活力	円滑なモビリティの確保	並行区間等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率		本州全体 0.03%削減(1,437千人・時間/年 削減) 資料:定量的評価指標の算出方法(案)
		並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満であった区間の旅行速度の改善状況	-	該当無し
		当該路線の整備によるバス路線の利便性向上の状況	-	該当無し
		新幹線駅へのアクセス向上の状況	-	該当無し
		第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上の状況	-	該当無し

政策目標		評価項目	効果の有無	補足事項(場所・データ等)
大項目	中項目			
1.活力(続き)	物流効率化の支援	特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上の状況	-	該当無し
		農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上の状況	-	該当無し

(今治・小松自動車道(今治小松道路))

政策目標		評価項目	効果の有無	補足事項(場所・データ等)
大項目	中項目			
	都市の再生	都市再生プロジェクトの支援に関する効果	-	該当無し
		三大都市圏の環状道路が形成(又は一部形成)されたことによる効果	-	該当無し
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携に関する効果		東予丹原IC周辺地域を平成16年に市街化調整区域から産業居住地区(特定用途制限地区)へ変更した結果、東予丹原IC周辺に集合型店舗、家電量販店など複数の商業施設の立地が進み、地域が活性化 資料 西条市役所ヒアリング
	国土・地域ネットワークの構築	当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	-	該当無し
		当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	-	該当無し
		日常活動圏の中心都市へのアクセス向上の状況	-	該当無し
	個性ある地域の形成	拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントの支援に関する効果	-	該当無し
		IC等から主要な観光地へのアクセス向上による効果		県外から当該道路を含む東予今治地方瀬戸内海地区への観光入込客数が約2.4倍の増 開通前(H10)820千人 開通後(H16)1,945千人 当該道路の休日利用の約6割が観光・レジャー目的であり、観光地へのアクセスに寄与。 資料 平成17年観光客数とその消費額、NEXCO西日本調査
		新規整備の公共公益施設と直結されたことによる効果		今治湯ノ浦IC付近に道の駅「今治湯ノ浦温泉」が完成し(H11)四国各地からしまなみ海道への観光客誘致に寄与。 資料 今治地方観光協会ヒアリング
	2.暮らし	安全で安心できる暮らしの確保	三次医療施設へのアクセス向上の状況	
3.安全	安全な生活環境の確保	並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる	-	該当無し
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり		愛媛県の地域防災計画において、当該道路が緊急輸送道路として指定されている。 資料 愛媛県地域防災計画
	緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成		災害による通行規制時に周辺の西瀬戸自動車道、山陽道、瀬戸大橋と連携して代替路線を形成し、四国北部の東西方向の交通を確保 (H16.9.29の台風21号による災害発生時に松山自動車道、一般国道11号、一般県道新居浜土居線が通行止め、JR予讃線が運休) 資料 松山河川国道事務所資料、NEXCO西日本資料	
	並行する高速ネットワークの代替路線として機能	-	該当無し	
		並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成	-	該当無し

## ( 今治・小松自動車道(今治小松道路) )

政策目標		評価項目	効果の有無	補足事項(場所・データ等)
大項目	中項目			
4.環境	地球環境の保全	対象道路の整備により、削減される自動車からのCO2 排出量		176,084,664t- $\text{CO}_2$ /年 176,039,631t- $\text{CO}_2$ /年 45,033t- $\text{CO}_2$ /年(0.03%)減少) 本州全体 資料)定量的評価指標の算出方法(案)
	生活環境の改善・保全	並行区間等における自動車からのNO2 排出削減率		216,976t-NOx/年 216,876t-NOx/年 100t-NOx/年(0.05%) 減少 本州全体 資料)定量的評価指標の算出方法(案)
		並行区間等における自動車からのSPM 排出削減率		11,153 t-SPM/年 11,148t-SPM/年 5.0t-SPM/年(0.05%) 減少 本州全体 資料)定量的評価指標の算出方法(案)
		並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過していた区間の騒音レベルの改善の状況	-	該当無し
		その他、環境や景観上の効果	-	該当無し
5.その他	他のプロジェクトとの関係	他機関との連携プログラムに関する効果	-	該当無し
	その他	その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果		当該道路の開通を契機に東予インダストリアルパークの企業数が3倍に増加 資料)愛媛県 経済労働部 企業振興課ヒアリング結果

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・B Pの別
一般国道196号	今治小松道路	L=13.0km	一般国道	-

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
5,000~6,700	2	四国地方整備局 西日本高速道路(株)

## 費用

	事業費	維持修繕費	合計
基準年	平成18年度		
単純合計	856億円	138億円	993億円
基準年における 現在価値(C)	1,112億円	87億円	1,199億円

## 便益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成18年度			
供用年	平成13年度			
単年便益 (初年便益)	44億円	3億円	1億円	48億円
基準年における 現在価値(B)	1,196億円	74億円	35億円	1,305億円

## 結果

費用便益比(B/C)	1.1
------------	-----

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## 交通状況の変化

事業名：今治小松自動車道（いよ小松JCT～今治湯ノ浦）

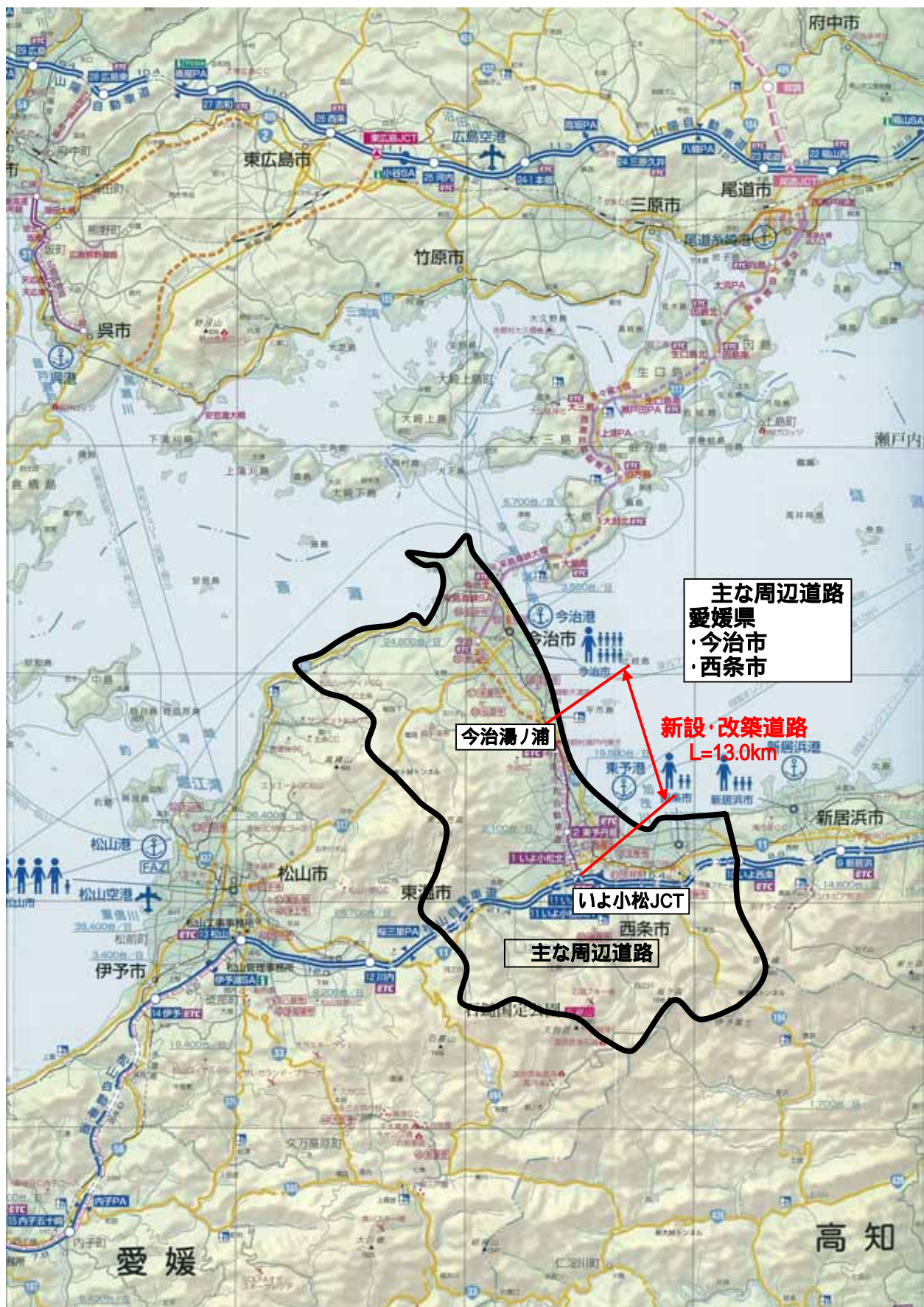
（推計時点 H33年）

			整備なし(A)	整備あり(B)
新設・改築道路 [いよ小松JCT～今治湯ノ浦] ：13.0km	走行台キロ	[万台km/日]	0	7
	走行台時	[万台分/日]	0	5
	走行時間費用	[億円/年]	0	13
主な周辺道路 今治市、西条市 ：584.7km	走行台キロ	[万台km/日]	476	476
	走行台時	[万台分/日]	722	699
	走行時間費用	[億円/年]	1,876	1,816
その他道路合計 ：134480.5km	走行時間費用	[億円/年]	683,888	683,883

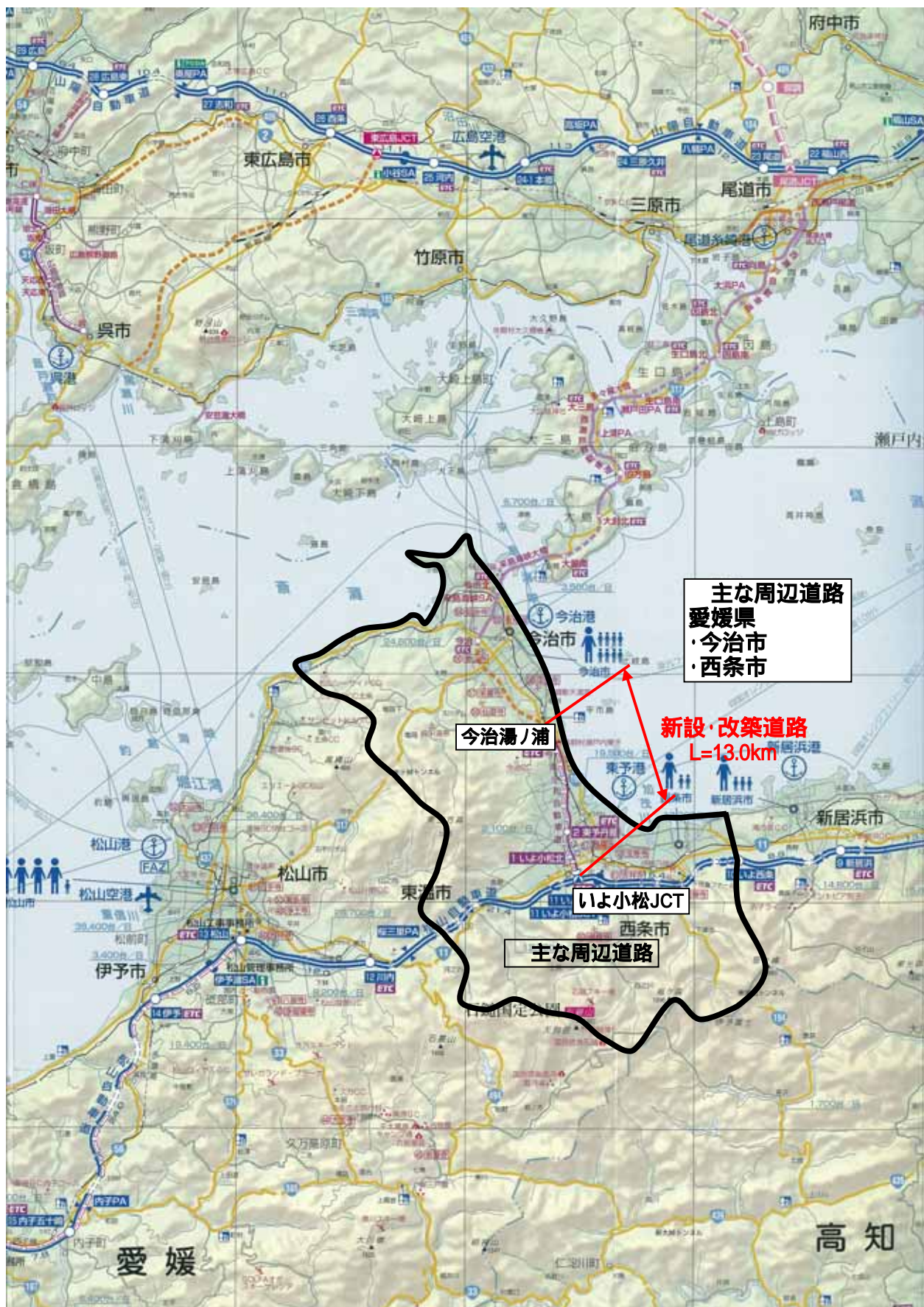
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：135078.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	685,763	685,712	51

四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：今治小松自動車道（いよ小松～今治湯ノ浦）



事業名：今治小松自動車道（いよ小松～今治湯ノ浦）



## 費用便益分析の条件

事業名：一般国道196号(今治小松道路)

(2)

		項目	チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)		
	その他		
分析の基本的事項	分析対象期間		40年間
	社会的割引率		4%
	基準年次		平成18年
交通流の推計時点	1時点のみ推計		(H33)
	複数時点での推計		
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		有 無
	整備の有無のいずれかのみ推計		
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)		(H11センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)		
	その他( )		
開発交通量の考慮	無		
	有		
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	( )台トリップ/日
交通流推計	配分交通量の推計手法	Q - V式を用いた配分	
		転換率式を用いた配分	
		Q - V式と転換率式の併用による配分	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
		簡易手法	
		簡易手法の場合	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載		
	最終配分の速度 採用理由を記載		
	その他(センサスデータを使用し、高規格道路の速度は、道路種別・車線当たり交通量から設定。また一般道の速度は、沿道条件・交差点密度等の道路条件を考慮し設定。)		





費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含まず)

箇所名: 一般国道196号(今治小松道路)

採用単価の根拠 実績値より設定		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
-	14.0	-

年次	年度	割戻率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-12年目	H 1	2.0568	1	1		0
-11年目	H 2	1.9045	2	4		0
-10年目	H 3	1.7883	2	3		0
-9年目	H 4	1.7079	5	9		0
-8年目	H 5	1.6502	25	41		0
-7年目	H 6	1.5867	29	46		0
-6年目	H 7	1.5213	39	59		0
-5年目	H 8	1.4595	56	82		0
-4年目	H 9	1.3904	94	131		0
-3年目	H 10	1.3620	208	283		0
-2年目	H 11	1.3225	251	332	0.93	1
-1年目	H 12	1.2653	129	164	1.32	2
供用開始年次	H 13	1.2365	15	18	5.11	6
1年目	H 14	1.1699	0	0	3.35	4
2年目	H 15	1.1249	0	0	3.23	4
3年目	H 16	1.0816	0	0	3.00	3
4年目	H 17	1.0400	0	0	2.95	3
5年目	H 18	1.0000	0	0	3.04	3
6年目	H 19	0.9615	0	0	3.07	3
7年目	H 20	0.9246	0	0	3.09	3
8年目	H 21	0.8890	0	0	3.13	3
9年目	H 22	0.8548	0	0	3.16	3
10年目	H 23	0.8219	0	0	3.22	3
11年目	H 24	0.7903	0	0	3.24	3
12年目	H 25	0.7599	0	0	3.22	2
13年目	H 26	0.7307	0	0	3.23	2
14年目	H 27	0.7026	0	0	3.27	2
15年目	H 28	0.6756	0	0	3.22	2
16年目	H 29	0.6496	0	0	3.20	2
17年目	H 30	0.6246	0	0	3.23	2
18年目	H 31	0.6006	0	0	3.27	2
19年目	H 32	0.5775	0	0	3.30	2
20年目	H 33	0.5553	0	0	3.63	2
21年目	H 34	0.5339	0	0	3.58	2
22年目	H 35	0.5134	0	0	3.57	2
23年目	H 36	0.4936	0	0	3.56	2
24年目	H 37	0.4746	0	0	3.55	2
25年目	H 38	0.4564	0	0	3.54	2
26年目	H 39	0.4388	0	0	3.53	2
27年目	H 40	0.4220	0	0	3.52	1
28年目	H 41	0.4057	0	0	3.51	1
29年目	H 42	0.3901	0	0	3.50	1
30年目	H 43	0.3751	0	0	3.49	1
31年目	H 44	0.3607	0	0	3.48	1
32年目	H 45	0.3468	0	0	3.46	1
33年目	H 46	0.3335	0	0	3.45	1
34年目	H 47	0.3207	0	0	3.44	1
35年目	H 48	0.3083	0	0	3.42	1
36年目	H 49	0.2965	0	0	3.41	1
37年目	H 50	0.2851	0	0	3.40	1
38年目	H 51	0.2741	0	0	3.38	1
39年目	H 52	0.2636	0	-62	3.37	1
合計			856	1,112	138	87

単純事業費計	856	138
--------	-----	-----

注1)消費税は含まないものとする

注2)供用開始年次は当該道路全線供用とする

注3)評価対象期間最終年における用地残存価値(割引後の用地費)を控除している

便益の現在価値算定表  
 箇所名：一般国道196号(今治小松道路)

年次 供用開始年次	年度 (基準年) H18	割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計 (億円)				
			乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 x(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A)x	現在価値 x(A)	便益合計 (~)	割引率%
1年目	H 13	1.2167	18.7	3.0	6.6	7.9	36	44	0.4	0.0	1.0	0.8	2	3	1.1	40	48
2年目	H 14	1.1699	20.0	3.2	7.1	8.4	39	45	0.4	0.0	1.0	0.9	2	3	1.1	42	49
3年目	H 15	1.1249	21.2	3.4	7.5	8.9	41	46	0.4	0.0	1.1	1.0	3	3	1.2	45	50
4年目	H 16	1.0816	21.7	3.5	7.7	9.1	42	45	0.5	0.0	1.1	1.0	3	3	1.2	46	49
5年目	H 17	1.0400	23.0	3.7	8.1	9.7	45	46	0.5	0.0	1.2	1.0	3	3	1.3	49	51
6年目	H 18	1.0000	23.7	3.8	8.4	10.0	46	46	0.5	0.0	1.2	1.1	3	3	1.4	50	50
7年目	H 19	0.9615	23.9	3.9	8.5	10.1	46	45	0.5	0.0	1.2	1.1	3	3	1.4	51	49
8年目	H 20	0.9246	24.1	3.9	8.5	10.2	47	43	0.5	0.0	1.2	1.1	3	3	1.4	51	47
9年目	H 21	0.8890	24.4	3.9	8.6	10.3	47	42	0.5	0.0	1.3	1.1	3	3	1.4	52	46
10年目	H 22	0.8548	24.7	4.0	8.7	10.4	48	41	0.5	0.0	1.3	1.1	3	3	1.4	52	45
11年目	H 23	0.8219	25.1	4.1	8.9	10.6	49	40	0.5	0.0	1.3	1.1	3	2	1.4	53	44
12年目	H 24	0.7903	25.2	4.1	8.9	10.6	49	39	0.5	0.0	1.3	1.1	3	2	1.4	53	42
13年目	H 25	0.7599	25.1	4.0	8.9	10.6	49	37	0.5	0.0	1.3	1.1	3	2	1.4	53	40
14年目	H 26	0.7307	25.2	4.1	8.9	10.6	49	36	0.5	0.0	1.3	1.1	3	2	1.4	53	39
15年目	H 27	0.7026	25.5	4.1	9.0	10.7	49	35	0.5	0.0	1.3	1.1	3	2	1.5	54	38
16年目	H 28	0.6756	25.1	4.1	8.9	10.6	49	33	0.5	0.0	1.3	1.1	3	2	1.4	53	36
17年目	H 29	0.6496	25.0	4.0	8.8	10.5	48	31	0.5	0.0	1.3	1.1	3	2	1.4	53	34
18年目	H 30	0.6246	25.2	4.1	8.9	10.6	49	30	0.5	0.0	1.3	1.1	3	2	1.4	53	33
19年目	H 31	0.6006	25.5	4.1	9.0	10.7	49	30	0.5	0.0	1.3	1.1	3	2	1.4	54	33
20年目	H 32	0.5775	25.7	4.2	9.1	10.8	50	29	0.5	0.0	1.3	1.2	3	2	1.5	54	31
21年目	H 33	0.5553	26.4	4.3	9.3	11.1	51	28	0.6	0.0	1.4	1.2	3	2	1.5	56	31
22年目	H 34	0.5339	27.9	4.5	9.9	11.8	54	29	0.6	0.0	1.4	1.3	3	2	1.6	59	31
23年目	H 35	0.5134	27.8	4.5	9.8	11.7	54	28	0.6	0.0	1.4	1.3	3	2	1.6	59	30
24年目	H 36	0.4936	27.8	4.5	9.8	11.7	54	27	0.6	0.0	1.4	1.3	3	2	1.6	59	29
25年目	H 37	0.4746	27.7	4.5	9.8	11.7	54	25	0.6	0.0	1.4	1.2	3	2	1.6	58	28
26年目	H 38	0.4564	27.6	4.5	9.8	11.6	53	24	0.6	0.0	1.4	1.2	3	2	1.6	58	27
27年目	H 39	0.4388	27.6	4.4	9.7	11.6	53	23	0.6	0.0	1.4	1.2	3	1	1.6	58	26
28年目	H 40	0.4220	27.5	4.4	9.7	11.6	53	22	0.6	0.0	1.4	1.2	3	1	1.6	58	24
29年目	H 41	0.4057	27.4	4.4	9.7	11.5	53	22	0.6	0.0	1.4	1.2	3	1	1.6	58	23
30年目	H 42	0.3901	27.3	4.4	9.7	11.5	53	21	0.6	0.0	1.4	1.2	3	1	1.6	58	23
31年目	H 43	0.3751	27.2	4.4	9.6	11.5	53	20	0.6	0.0	1.4	1.2	3	1	1.5	57	22
32年目	H 44	0.3607	27.1	4.4	9.6	11.4	53	19	0.6	0.0	1.4	1.2	3	1	1.5	57	21
33年目	H 45	0.3468	27.0	4.4	9.5	11.4	52	18	0.6	0.0	1.4	1.2	3	1	1.5	57	20
34年目	H 46	0.3335	26.9	4.3	9.5	11.3	52	17	0.6	0.0	1.4	1.2	3	1	1.5	57	19
35年目	H 47	0.3207	26.8	4.3	9.5	11.3	52	17	0.6	0.0	1.4	1.2	3	1	1.5	57	18
36年目	H 48	0.3083	26.7	4.3	9.4	11.3	52	16	0.6	0.0	1.4	1.2	3	1	1.5	56	17
37年目	H 49	0.2965	26.6	4.3	9.4	11.2	51	15	0.6	0.0	1.4	1.2	3	1	1.5	56	17
38年目	H 50	0.2851	26.5	4.3	9.4	11.2	51	15	0.6	0.0	1.4	1.2	3	1	1.5	56	16
39年目	H 51	0.2741	26.4	4.3	9.3	11.1	51	14	0.6	0.0	1.4	1.2	3	1	1.5	56	15
合計	H 52	0.2636	26.3	4.2	9.3	11.1	51	13	0.6	0.0	1.4	1.2	3	1	1.5	56	15
			1,021	165	361	430	1,976	1,196	22	2	52	46	121	74	58	2,156	1,305